

# 金城 ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告

## ごあいさつ



申し上げます。実施内容については名護市議会ホームページに掲載しております。  
 皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。



## 議会報告



金城善英 HP

### 第213回名護市定例会（12月定例会）

は、令和5年12月7日から12月25日までの会期で行われました。令和5年度名護市

一般会計補正予算（第6号）を含む、市長提出議案18件、報告1件、諮問1件が審議されました。陳情4件については、各常任委員

会へ付託されました。また、追加議案として、市長提出議案2件、議員提出意見書案3件、

決議案3件が審議されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「な

ご市議会だより」第145号（3月初め配布）の議案処理結果一覧をご覧ください。

## 12月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

## 二、農業行政について

質問（1）2000年から現在までの5年ごとの農業産出額、農業経営体数、認定農業者数の推移について（資料提供）

答弁 農業産出額は2000年59億6千万円、2005年61億9千万円、2015年72億

5千万円、2020年56億4千万円。農業経営体数は2005年986件、2010年78

5件、2015年998件、2020年889件、認定農業者数は、2000年25件、2005年15件、2010年67件、2015年

46件、2020年28件。（裏面へ）

質問（2）物価高対策として特に必要かつ効果的であって、生活者、事業者を考慮した支援策について

答弁 効果的な支援策の事業化に向けて関係各課で調整し、早期の執行に取組む。

統的な賃上げ実現のため、本市議会公明会派は「物価高騰対策と経済再生に向けた提言」の文書を渡し知武豊市長へ手交し、追加の「重点支援地方交付金」の活用を着実かつ迅速に実施するよう強く要望いたしました。その後、11月29日の参議院本会議で総合経済対策の裏付けとなる令和5年度補正予算が可決され、成立したところです。そこで、「重点支援地方交付金」の活用を着実かつ迅速に実施することについて伺う

質問（1）低所得世帯支援枠についてア、給付対象世帯数、対象者数、給付金額についてイ、給付スケジュールについて

答弁 ア、給付対象世帯数は、12,000世帯程度、対象者数は把握が困難、給付金額は、一世帯7万円の給付で総額8億4千万円の給付を見込んでいる。イ、今議会で追加議案として上程し、議決後システム改修、通知の発送を経て2月末ごろ給付見込み。

質問（2）推奨事業メニューについて

答弁 物価高対策として特に必要かつ効果的であって、生活者、事業者を考慮した支援策について

答弁 効果的な支援策の事業化に向けて関係各課で調整し、早期の執行に取組む。

(1面からつづく)

**質問(2) 認定新規農業者になる要件とメリットについて**

答弁 要件として青年等就農計画が認定され、適切であり、達成見込みが確実であることなど。

メリットは、青年等就農資金が無利子、経営開始資金が低金利、農地集積の促進などがある。

**質問(3) 新規就農者支援体制について**

答弁 沖縄県農業改良普及課、指導農業士、金融機関などとサポートチームを構築し、経営・技術指導、資金活用などの指導・助言など経営が安定し定着まで伴走的な支援に取組んでいる。

**三、奨学金返還支援制度の導入について**

**質問(1) 奨学金返還支援制度の概要について**

答弁 優秀な人材の獲得や従業員の定着等に向け、従業員に対し奨学金の返還支援を行う企業の負担に対して補助を行う制度。

**質問(2) 日本学生支援機構奨学生の借用金額、年間返還額、返還回数などについて(直近の資料提供)**

答弁 沖縄県では、令和4年度、第一種奨学金(無利子)は貸与額6,417名に対し、33億2,44万円、一人平均約51万8千円、第2種奨学金(有利子)は貸与額6,640名に対し、57億445万円、一人平均約85万9千円。

**質問(3) 日本学生支援機構や地方公共団体から借り入れた奨学金の返還支援に地方公共団体が要した経費については、国の特別交付税措置の対象になることについて**

答弁 大学等卒業後に自団体内に就職・居住することを要件として奨学金返還支援制度を創設した場合、特別交付税により措置される。

**質問(4) 奨学金返還支援制度の導入による保育士の安定的な確保について**

答弁 財源の精査や関係部署、団体との調整を図りながら総体的に判断する。

## 四、名護市給付型奨学金制度について

**質問(1) 制度開始から現在までの実施状況について**

答弁 令和2年度より給付開始し、令和5年度の実績見込みは、新規給付者2名、県内就学者6名、県外就学者5名に対し588万円給付見込

**質問(2) 成果と課題について**

答弁 制度を活用し、就学した学生は延べ13名。新規5名枠に対し申込者数が少ない。

**質問(3) 入学準備金の追加について**

答弁 既存事業に支障のないよう財源の確保を含め検討する。

**五、名護湾沿岸のまちづくりについて**

**質問(1) 名護漁港周辺エリアにおける国道58号移設の取組について**

答弁 実現化に向けて内閣府総合事務局北部国道事務所と双方で勉強会や意見交換をしている

**質問(2) 名護市総合交通ターミナル整備事業について**

答弁 実現化に向け内閣府総合事務局北部国道事務所と双方で勉強会や意見交換をしている

**災拠点機能や大規模立体駐車場、立体駐輪場の整備などを考慮した計画となつていいのか伺う**

答弁 ア、現在総合交通ターミナルの実現化検討調査業務を実施している

イ、防災機能や駐車場、駐輪場、レンタカー施設等、多様なモビリティの選択や賑わいを創出する拠点にしたい。

**六、交通移動支援について**

**質問(1) 名護市コミュニティバスの運行について**

現在、市街地周辺を循環線が名護バスターミナルを発着点に右回り左回りで運行している。11月27日の本市第308回(11月)臨時会では



能登半島地震被災者救援の会と公明議員で  
街頭募金活動を実施

やさしく、深く、面白く、役に立つ  
政治を毎日わかりやすくお伝えする  
**公明新聞**を読んでみませんか?

日刊(1ヶ月 1,887円/税込)

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

北線は2月運行に向けて準備中。屋我地線は新規路線なので、沖縄総合事務局への手続き等を経て、令和6年秋ごろ運行開始する予定。

**質問(2) やがじ交通移動支援について**

ア、現在までの運営状況 イ、今後の交通移動支援の在り方について ウ、「屋我地ひるぎ学園」児童生徒の通学支援について エ、済井出区、屋我区、饒平名区、我部区、運天原区のバス停の位置について

答弁 ア、平成28年度に地域の高齢者の買物支援を目的に地域のコミュニティバスとして運行を開始したが、同時期に開校した屋我地ひるぎ学園の地域外から通う児童・生徒の通学についても買物支援の合間にを活用し支援してきた。

しかし、令和5年4月のマイクロバスの事故で廃車になつていて。イ、ウは一括答弁 やがじ交通移動支援については引き続き運行する。屋我地ひるぎ学園に係る「通学支援バス」については、令和5年度で終了する。エ、屋我地区長会にて説明し、地域から意見を募る。